

令和3年10月14日研究公開報告

令和3年度教育課程研究指定校事業研究公開

南大隅町立根占中学校で

「教育課程（国語科）」についての研究公開が開催されました。

令和3年10月14日（木）に、南大隅町立根占中学校にて、教育課程研究指定校事業に係る研究公開が行われました。根占中は、研究主題を「社会を生き抜く確かな学力を育成する授業の創造～国語科における思考力・判断力・表現力等の育成～」と設定し、国・県・町と連携を図りながら研究を進めてきました。昨年度、全国にオンラインで中間発表会を行い、今回は大隅地区の先生方に還元するために公開されました。2月にはこれまでの研究の集大成として、全国に最終発表（オンライン）を行いました。



【閉会のあいさつ】
福水 浩一 校長先生

【研究発表】

実践研究発表として、これまでの研究の歩みを大隣先生が説明されました。研究の視点を「国語科における指導法改善」と「他教科の指導法改善と教科横断的な指導法の工夫」と設定し、国語科から他教科への広がり・深まりが見られる意義ある研究になりました。特に「思考過程を振り返らせる手立て」や「解答類型を伴う評価問題の作成と活用」等、確かな学力につながるよい取組が提案されました。



【発表の様子】

【公開授業：第2学年】

単元名「根拠を吟味し、説得力を高めよう」

（教材名「モアイは語るー地球の未来」（光村図書2年））

柏木先生の授業において、教材文の構成論理の展開、表現の効果を捉えさせる実践が公開されました。生徒は共通課題とともに「私の問い」への解決にも取り組みました。本時の学びを見届けるポストテストはICTを効果的に活用して生徒が主体的に学ぶ姿が見られました。



【授業の様子】

【授業研究】

授業研究は、国立教育政策研究所 学力調査官・教育課程調査官の黒田 諭先生（オンライン）や、鹿児島県教育庁義務教育課の峯元 済年指導主事をお迎えして行いました。大隅地区内からたくさんの先生方や各市町教育委員会指導主事の方々が参加され活発な質疑応答や意見交換が行われました。学習指導要領の全面実施直後の研究ということで、大変貴重な時間になりました。



【指導助言者】

【指導講話～国立教育政策研究所より～】

授業研究に引き続き、国立教育政策研究所 学力調査官・教育課程調査官の黒田 諭先生に指導講話を行っていただきました。黒田先生は、この2年間根占中をご指導くださり、本研究の成果や課題、現学習指導要領に見る中学校国語科の授業改善の視点等、大変詳しく指導していただきました。



【指導講話の様子】